

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

概要

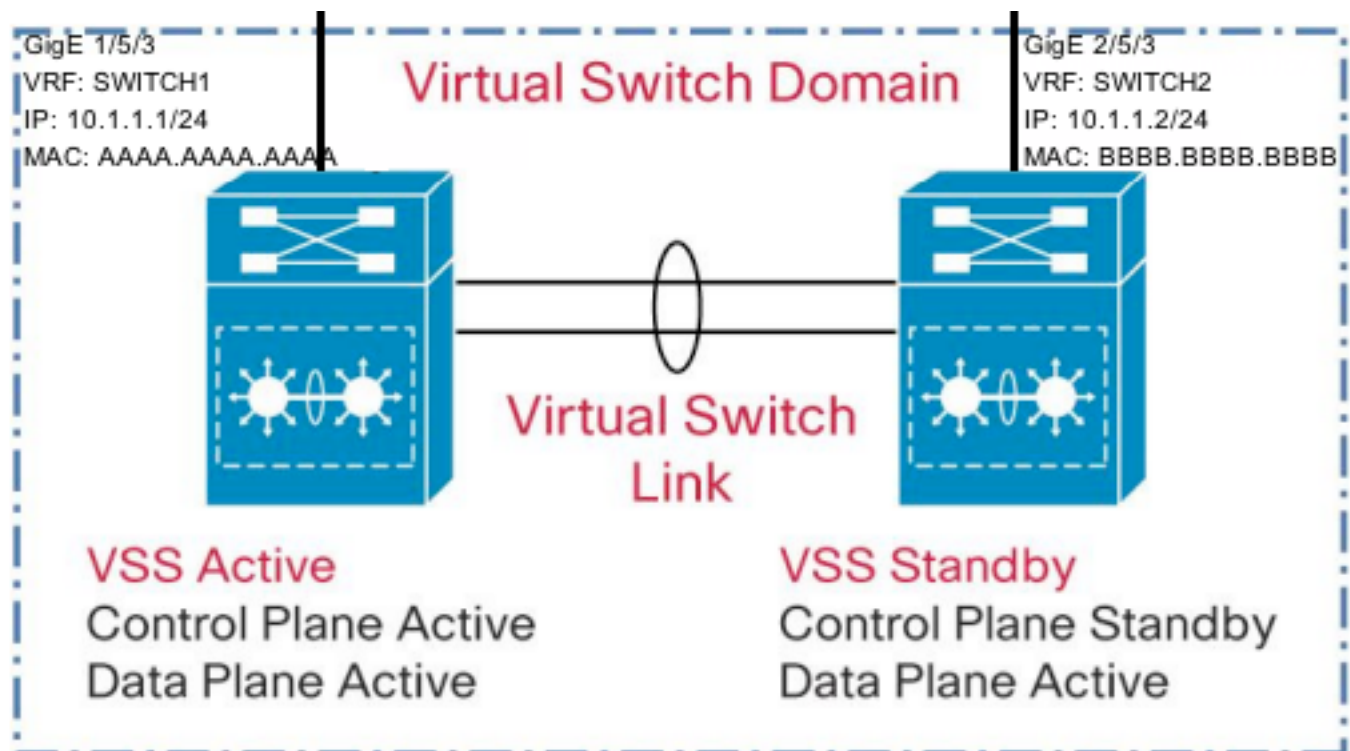
クラッシュの原因を特定するために switch crash が、それメモリーイメージの完全なコピーを (コアダンプと呼ばれる) 入手して時々役立つ時。 コアダンプは一般に テクニカル サポート 担当者に非常に役立ちます。

問題

仮想 な 切り換えシステム (VSS)

解決策

このガイドは物理的 な セットアップに従って仮定します:



1) 下記にとして二重アクティブ 検出の間にシャットダウンから VSS の各スイッチの 1 つのインターフェイスを除くことは必要です。

2) 下記にとして 2 つの仮想経路 フォワーディング (VRF) 例を、VSS の各スイッチのための 1 つ設定して下さい。これは VSS のスイッチが両方ともよくあるサブネットに接続するので必要です。

- 3) FTP のためのユーザ名、パスワードおよびソースインターフェイスを設定して下さい。インターフェイスの IP アドレスを設定し、VRF の一部としてように示します下記に設定して下さい。MAC アドレスは隣接デバイスのフラッピングから接続を防ぐために変更される必要があります。
- 4) FTP サーバの IP アドレスが接続されたサブネットに直接ある場合、10.1.1.3 を言って下さい、ルート設定が必要となりません。ただし FTP サーバが接続されたサブネットに直接なかったら、FTP サーバに達するために各 VRF 内のルートを設定して下さい。
- 5) それぞれ VRF 例からソースをたどられる PING の FTP サーバへの接続を確認して下さい。
- 6) コアダンプ generationon のための VSS の詳細に従って Configure。

警告： この設定が VSS のクラッシュのイベントに、アクティブなスイッチ時コアダンプが書かれているまでアップのままになっています。VSS スタンバイ スイッチはコアダンプが完全に書かれているまでアクティブな役割を引き継ぎません。これは最低数分で、ネットワーク応答時間によって大いに多く、FTP サーバの位置である可能性があります、FTP サーバに書く等はファイルのサイズによって時間の拡張量、およびネットワーク遅延をかけることができます。